

令和6年度 長与町高田保育所自己評価結果

平成20年3月に告示された保育所保育指針において、保育士等及び保育所の自己評価の実施並びにその公表が努力義務として位置づけられました。このことを踏まえ、高田保育所では保育の質の向上を図るために、保育所の自己評価を実施しました。

自己評価を通して、自分たちの保育のよさや課題に気づき、次の保育計画へ活かし、改善していくことで、保育所の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がよりよく、深まるよう努めます。

【実施職員数】30名

【評価項目】保育所保育指針に示された項目に沿って設定

【評価期間】令和6年1月1日～12月28日

【評価の判定】1. ほぼ実施（100%～90%） 2. おおむね実施(90%～61%) 3. あまり実施せず(60%～21%) 4. ほとんど実施せず(20%～0%)

5. 該当せず(自己評価を行った職員が現在行っている保育業務に質問項目の内容が含まれない・集計からは除外する)

【評価方法】1～4の回答数を分母とし1～4の割合を出す。さらに章・節ごとに1～4の平均割合を出し、次のように決定する。

1…1のみで40%以上かつ1と2の全項目の合計平均が80%以上の場合。

2～4…1に該当せず、2～4の中で一番割合が大きいもの。

この結果をもとに、保育実践状況等を踏まえて、章・節ごとに保育所としての自己評価とする。

【公表内容】項目は138項目にわたるため、代表的な4または5項目とその結果、保育所としての自己評価と意見・改善点。

なお、回答率(割合%)は小数点第1位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合がある。

項目		評価(割合)				意見・改善点
第1章 総則(全4項目)		1	2	3	4	全体を通して評価は高いと言える。 保育目標である「家庭的な雰囲気のもと一人ひとりを大切に、生きる力を持った子どもを育てる」に基づき方針、計画を立て実施している。 3については、令和6年度は「あそびは学び」という保育内容についての配信を行った。また、各クラスの1日の保育活動の写真を玄関に掲示し、保護者への周知に努めた。 4については、個人情報施設できる棚に保管し保育所外に持ち出していない。
1	「保育方針」「保育計画」に基づき保育を行っていますか	50%	46%	4%	0%	
2	子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができていますか	57%	43%	0%	0%	
3	保育の「ねらい」や「内容」を保護者に分かるように説明できますか	40%	52%	4%	4%	
4	入所・利用している子どもの個人情報の(あなた自身の)管理は、適切だと思いますか	86%	14%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
第2章 子どもの発達(全7項目中5項目掲載)		1	2	3	4	全体を通して評価は高いと言える。 第2章は保育の土台となるところである。乳幼児期の育ちは重要であり生涯にわたって影響を与えるものである。保育士はそのことを理解し、実践に努めなければならない。自己評価結果はほぼ実施となり、各項目の評価も高いといえる。 3については、子ども主体の保育を実現するために遊びの環境作り、子ども同士を繋げる保育士の声掛けなど研修に参加し実践に努めた。 4については、子どもは周りの人に受け入れられたように他者を受け入れていくことを留意して保育を行っている。
1	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	70%	30%	0%	0%	
2	子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てるために一人ひとりの子どもを愛し、信頼していますか	63%	37%	0%	0%	
3	子どもが興味や関心を示し、自発的に働きかけることができるように、身近な環境を整えていますか	37%	57%	7%	0%	
4	子ども同士の関係の基礎となるように、あなたは一人ひとりの子どもと信頼関係を構築していますか	57%	40%	3%	0%	
5	発達上課題のある子どもに対しても子ども自身の力を十分に認め、適切な援助及び環境構成を行っていますか	46%	46%	7%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
第3章 保育の内容		評価(割合)				評価は理解に達しているといえる。 保育計画では「養護」と「教育」に分けて作成を行い、評価・考察を行っている。「一人ひとりを大切に」という保育目標のもと、子どもが保育所で快適かつ健康で、安全に生活ができ、情緒の安定が図れるよう配慮している。0～2歳児クラスでは担当制を導入し、子どもの小さな変化、要求に応えられるようにしている。「教育」は子どもの主体性を重んじ、遊びを通して様々な能力を育むことができるように環境と日課を工夫している。
	1. ねらい・内容(全3項目)	1	2	3	4	
1	保育所保育は「養護と教育」が一体となって展開されることに留意していますか	57%	40%	0%	3%	
2	「養護」とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図るための援助であることを理解していますか	57%	40%	3%	0%	
3	「教育」とは、子どもが健やかに成長し、活動がより豊かに展開されるための援助であることを理解していますか	57%	40%	3%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	(1)養護(生命の保持・情緒の安定) (全8項目中5項目を掲載)	1	2	3	4	評価については、ほぼ実施しているといえる。 1については保護者への確認と子どもの視診を行っている。 4については、自立を目指しながらも、子どもの気持ちとベースを大事にしようとしている。 5については、子どもが困っているときほど大人がどのような対応をするかで信頼関係や自尊心が培われるものである。スキンシップを取り、会話をして共感するなどしている。
1	登園時の子どもの健康観察を行っていますか	59%	41%	0%	0%	
2	子どもが触れたりする物や場所など、衛生的な環境を保てるように常に気をつけていますか	40%	60%	0%	0%	
3	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけていますか	63%	37%	0%	0%	
4	「できない」「やって」などと言ってくるとき、その都度気持ちを受け止めて対応していますか	60%	40%	0%	0%	
5	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまうことがないようにしていますか	67%	33%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				

項目		評価(割合)				意見・改善点
	(2)教育 1)健康 (全8項目中5項目を掲載)	1	2	3	4	評価については、全体通して高いといえる。 1)については、全クラス十分な活動時間を保障することにより、健康的な生活リズムができています。 0. 1歳児は保育室横に専用園庭があり、毎日安全に戸外遊びができています。 2)については、0～1歳児クラスは家庭での起床時間を踏まえ、日課を複数パターン作り、子どもの生理的欲求に合わせた生活のリズムの中で心地よく生活ができています。 3. 4)については、成長発達に合わせ個別で支援を行うことができている。3～5歳児に関しては異年齢の小グループにおいて年長児が年少児に教える機会も作っている。
1	十分に身体を動かせるよう、時間と場所を確保するなどの配慮をしていますか	42%	54%	0%	4%	
2	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの一日の生活の流れを考えながら保育していますか	48%	44%	4%	4%	
3	食事の前や排せつの後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくよう援助していますか	57%	43%	0%	0%	
4	衣類の着脱を自分でやろうとしている子どもの気持ちを大切にしていますか	71%	29%	0%	0%	
5	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えを日頃から話していますか	33%	63%	4%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	(2)教育 2)人間関係 (全9項目中5項目を掲載)	1	2	3	4	評価については、全体を通して高いといえる。 社会性やコミュニケーション能力の発達のためにも、職員は保育の方法を学び、実践しているところである。 4. 5)については、視覚的情報を掲示し、子ども自身が気づいたり、教え合ったりできるようにしている。また、大人の介入を控え、見守りを多くすることで子ども自身が解決する機会を提供している。また保育士が子どもの様子をよく観察し、友達同士を繋げることに努めている。
1	子どもが、保育士や友達と共に過ごすことの喜びを感じることができるような配慮をしていますか	57%	36%	4%	4%	
2	つまづきや葛藤、ケンカなどを、子どもの育ち(発達)に欠かせない物としてとらえ、対処していますか	57%	40%	3%	0%	
3	友達と積極的に関わることで、友達の良さに気付くよう援助していますか	50%	42%	4%	4%	
4	園生活の中で、順番を守るなど決まりの大切さを理解できるように、丁寧に説明していますか	40%	53%	7%	0%	
5	共同の遊具や用具を大切に使うことを、活動を通して体験できるよう配慮していますか	36%	61%	4%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	(2)教育 3)環境 (全8項目中5項目を掲載)	1	2	3	4	他の項目と比較して、「3あまり実施せず」の割合が多かった。児童に直接教育を提供する機会が少ない職員が3と回答してる割合が高かった。また、熱中症予防のため戸外遊びができない日が多くなり、散歩の機会が減少したのも一因と思われる。 令和4年度から自然活動の専門講師を招いて4. 5歳児対象に8回行っている。また、職員研修も実施し、保育で実践できるように配慮しているが実施を促したい。
1	身近な自然を通して、その美しさ、不思議さなどに気づくことができるようにしていますか	46%	43%	7%	4%	
2	水や砂や土などを使って、その性質や仕組みに合った遊びを展開できるように工夫していますか	36%	40%	24%	0%	
3	子どもが身近な動植物に自分から触ろうとすると、何に一番気を付けなければいけないか、いつも考えていますか	22%	59%	19%	0%	
4	園庭や散歩で集めた葉や木の実等、季節感のある素材を保育の中で活用していますか	26%	39%	30%	4%	
5	園外保育などで地域で働いている人たちに出会う機会をつくっていますか	33%	33%	33%	0%	
保育所としての自己評価		2 おおむね実施				
	(2)教育 4)言葉 (全11項目中5項目を掲載)	1	2	3	4	評価は全体を通して高いと言える。 周りの人によく話を聴いてもらうことで言葉の発達の土台が形成されていく。また、情緒の安定や信頼関係が育まれる。 ゆったりと対応ができるように、行事や保育以外の業務が煩雑にならないように園全体で努めていきたい。
1	子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉かけを心がけていますか	53%	47%	0%	0%	
2	子どもがしたいこと、してほしいことを話している時、最後までゆったりと聞くよう努めていますか	50%	50%	0%	0%	
3	子どもが見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、その子なりの言葉で表現する機会を大切にしていますか	52%	48%	0%	0%	
4	子どもが絵本や物語の内容と自分の経験とを結び付けたり、想像を巡らせるよう、読み方を工夫していますか	41%	52%	4%	4%	
5	「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか	57%	43%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	(2)教育 5)表現 (全7項目中5項目を掲載)	1	2	3	4	他の項目と比較して、「あまり実施せず」「ほとんど実施せず」の割合が高かった。保育士以外の職種や実施機会が少ない職員にそのような回答が見られた。必要場合は機会の提供を行ってきたい。 1わらべうたを通して情緒の安定や社会性の育ちを目指している。特に0歳児クラスでは保育士と1対1でふれあいの時間をもち、子どもたちも心待ちにしている姿が見られる。 3)については、展示はしているのでお互いの作品を見る機会を作って、様々な表現を鑑賞できるようにしたい。
1	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助していますか	36%	50%	14%	0%	
2	美しい物や心を動かす出来事にふれ、イメージを豊かにできるような機会をつくっていますか	24%	57%	10%	10%	
3	子どもが作ったり表現したものを、お互いに見せ合ったりするような機会をつくっていますか	9%	68%	18%	5%	
4	みんなで一緒に表現することの喜びを、味わえるような機会をつくっていますか	24%	53%	24%	0%	
5	子どもがいろいろな素材に触れ、親しみ、イメージを豊かに持てるよう配慮していますか	17%	65%	13%	4%	
保育所としての自己評価		2 おおむね実施				
	2. 保育の環境 (全5項目)	1	2	3	4	評価については、1の回答が「あまり実施せず」が高く、全体の評価が「2おおむね実施」になった。保育室の環境は、子どもの興味発達に合わせて、遊び環境は月に最低1度は整えているなどをいれている。インテリアは実施する機会が少ない職員が多く、結果に影響を与えたと思われる。 3・4)については、各クラスにままごと、世話遊び、積木机上での手先を使う遊びなど、子ども達が主体的に自分で選んで遊べるようコーナーの環境を整えている。幼児組は工作コーナー、自然物観察コーナーなどを設け、仲間同士協力して遊ぶ楽しさと達成感を味わえるようにしている。また、ホールでは身体を十分動かせるように巧技台などを使って環境設定している。
1	季節に合わせて、保育室のインテリアなど環境に工夫していますか	21%	42%	37%	0%	
2	保育中のあなた自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさですか	33%	53%	13%	0%	
3	子どもの発達に即した玩具・遊具・用具を用意していますか	42%	54%	4%	0%	
4	こどもの興味に合わせて、好きな遊びができるコーナーを設けるよう工夫していますか	37%	58%	5%	0%	
5	日々の保育の中に、子どもが自由に遊べる時間帯を設けていますか	64%	36%	0%	0%	
保育所としての自己評価		2 おおむね実施				

項目		評価(割合)				意見・改善点
第3章 保育の内容		評価(割合)				評価は全体を通して高いと言える。
	3. 乳児保育（全12項目中5項目を掲載）	1	2	3	4	乳児保育は担当制を導入していて、授乳、食事、排泄、睡眠は保育士と子どもが1対1で行えるよう日課を工夫し丁寧に行っている。 育児やお世話を丁寧にしてもらうことにより、子どもは自身の存在を尊いものとしてとらえることができる。丁寧な育児は自尊心、自己肯定感を育む第一歩である。そのことを保育士は十分に理解し育児ができるように研鑽を積んでいる。
1	おむつの交換は、優しく声を掛けながら行っていますか	52%	48%	0%	0%	
2	一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか	59%	41%	0%	0%	
3	睡眠時に乳児の様子を把握する方法は、どの職員もすぐに理解できる適切な方法で行っていますか	60%	40%	0%	0%	
4	仕草や声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していますか	36%	64%	0%	0%	
5	子ども一人ひとりの育ちについて、職員間で連携を取り職員全体で見守る体制ができていますか	58%	42%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	4. 障害のある子どもの保育（全6項目中5項目を掲載）	1	2	3	4	評価は1ほぼ実施ではあるが、3と回答した保育士も多かったので今後情報共有に努めていきたい。
1	園での生活仕方について、障害のある子どもの特性に合わせた個別支援計画を立てて保育を行っていますか	45%	45%	9%	0%	障害のある子どもに対し、保護者との話し合いのもと、個別支援計画を立てて保育を行っている。また、関係機関からの助言・指導を取り入れながら生活の自立に向けて援助を行っている。 今年度も療育機関に保育観察を行っていただき、個別指導、環境整備について学び、実践につなげることができた。
2	障害のない子どもも障害のある子どもも、互いの良さを感じ取るように配慮していますか	56%	31%	13%	0%	
3	障害のある子どもの保育について、園全体で定期的に話し合う機会をもつよう配慮していますか	35%	53%	12%	0%	
4	障害のある子どもの保護者の気持ちを受け止め、信頼されるよう努めていますか	37%	53%	11%	0%	
5	障害のある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、保護者への支援を心がけていますか	27%	55%	9%	9%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	5. 子どもの人権（全4項目）	1	2	3	4	全体の評価は「ほぼ実施」と高かったが、4の研修は今年度は受講機会が少なかったなので、令和7年度は実施したいと思う。
1	「男(女)の子だから〇〇しなさい」などと、行動(態度)について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか	50%	50%	0%	0%	
2	子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮していますか	40%	55%	5%	0%	
3	子どもの人権への配慮や、互いに尊重する心を育てるよう配慮していますか	43%	53%	3%	0%	
4	あなたは、子どもの権利養護に関する研修に参加したことがありますか(CAP可)	44%	28%	8%	20%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
第4章 保育の計画及び評価		評価(割合)				
	1. 保育の計画（1)保育課程（全5項目）	1	2	3	4	評価は全体を通して高いと言える。
1	指導計画を養護的側面(基礎的事項)と教育的事項(5領域)の両面を考慮して作成していますか	36%	57%	7%	0%	令和5年度の「保育記録の取り方について」園内研修を実施後、記録に「子どもの姿」「読み取り」「保育者の願い」「今後の手段、計画」を記録することで、意識を高め、保育に生かせるよう努めている。
2	週案などの指導計画は、子どもの興味や関心、意欲に合わせて活動が展開できるように作成していますか	46%	54%	0%	0%	
3	あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか	23%	69%	8%	0%	
4	日々の個人記録を、子ども一人ひとりの発達過程の把握に生かしていますか	36%	64%	0%	0%	
5	子どもの個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理していますか	89%	11%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	2. 小学校との連携（全4項目）	1	2	3	4	評価は全体を通して高いと言える。
1	保育所の保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解していますか	67%	30%	4%	0%	小学校との連携については、令和6年度は長与町役場こども政策課が「長与町幼保小連携推進協議会」を発足し、中学校区内で学校見学、保育見学を行い連携を深めることができた。 3については、気軽に意見を交わせるよう普段の声掛けに努めたい。
2	普段の保育記録が「保育所児童保育要録」の記入に役立つように整理されていますか	29%	64%	7%	0%	
3	あなたは園長や主任との間で、質問したり意見を交わしたりできますか	39%	54%	7%	0%	
4	あなたは、園長や主任からの意見を、謙虚に受け止めることができますか	53%	47%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				

項目		評価(割合)				意見・改善点
第5章 健康及び安全		評価(割合)				評価は全体を通して高いと言える。
	1. 子どもの健康支援（全4項目）	1	2	3	4	1については、保護者への聴き取り、視診をもとに子どもの体調に合わせて食事・睡眠・活動を調整している。特に乳児組については、健康状態が生活や活動に大きく影響するので臨機応変に対応している。
1	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に生かしていますか	60%	37%	3%	0%	2については、玄関掲示に加え、保健だよりにて感染者数の集計を報告している。
2	感染症が発生した時、発生の状況や予防対策などをすぐに保護者に連絡していますか	60%	35%	5%	0%	
3	家庭では、子どもが十分に睡眠をとるなどして健康な生活リズムを身につけるよう保護者への啓発に努めていますか	39%	52%	4%	4%	4については、薬の保育所保管や慢性疾患について一覧表を作成し、いつでも確認できるようにしている。
4	子ども一人ひとりの健康状態などを、職員相互で確認していますか	50%	50%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	2. 環境及び衛生管理（全4項目）	1	2	3	4	評価は全体を通して高いと言える。
1	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか	48%	48%	3%	0%	1については、室温18℃以上、湿度60%を保つようにし、換気も行っている。
2	適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔に保つようにしていますか	57%	43%	0%	0%	2については、毎日定時に清掃・消毒を行っている。
3	砂場は、動物の侵入を防いだりするなど、衛生面に配慮していますか	31%	54%	12%	4%	3については、園庭での活動前に点検を行い、清潔の保持に努めている。
4	玩具・遊具については、適宜、衛生面に配慮していますか	37%	60%	3%	0%	4については、遊具は殺菌庫にて消毒を行っている。
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	3. 安全管理（全5項目）	1	2	3	4	評価は全体を通して高いと言える。2、3、5の質問に対し、4と答えた職員は保育士以外の職種でその機会がない職員であった。
1	子どもが危険な場所、危険な遊びが分かり、安全に気を付けて行動するよう指導していますか	48%	52%	0%	0%	4については、今年度はふれあいセンター、健康センターへの避難訓練を行った。また、火災消火訓練は北消防署濱田出張所職員に來所いただき実地訓練を行った。毎年の積み重ねで子どもたちは迅速に避難ができる。
2	手洗い場の滑り止めをはじめ、必要な個所の転倒防止の対策をしていますか	46%	46%	0%	7%	
3	交通安全の習慣が子どもの身につくように指導していますか	28%	50%	6%	17%	5については、子どもと職員対象に鍵かけ啓蒙を時津警察署職員に來所いただき行った。訓練も行っているがより精度を上げていきたい。
4	災害時に安全に避難できるようにするための訓練を行っていますか	62%	31%	7%	0%	
5	不審者が園内に侵入した際、あなたはどのように対応するのかを理解していますか	43%	53%	0%	3%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	4. 食育の推進（全5項目）	1	2	3	4	評価は全体を通して高いと言える。
1	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気作りなどを工夫していますか	48%	48%	0%	4%	保育所における食育を通して育てたい子ども像は以下のとおりである。 ①お腹がすぐリズムのもてる子ども ②食べたいもの、好きなものが増える子ども ③一緒に食べたい人がいる子ども ④食事づくり、準備にかかわる子ども ⑤食べたいものを話題にする子ども 以上を保護者や職員に周知し、食育を行っている。
2	子どもが栽培・収穫したもの、調理したものを食べるなどの機会を作るよう心がけていますか	23%	77%	0%	0%	2については、園庭の菜園で育てた野菜を調理した。また、稲刈りをした米をおにぎりにして年末大掃除後に食べて喜びを堪能した。野菜の販売も行い、お金の循環の学びにも繋がった。
3	絵本など視聴覚教材を通じて、食べ物に興味や関心を持つことができるように働きかけていますか	25%	63%	13%	0%	
4	その日の昼食の食べ具合などを、必要に応じて保護者に知らせていますか	83%	13%	4%	0%	5については、年間計画を作成し、みそ作り、豚汁作り、かまどでご飯たきなどを行った。
5	子どもが楽しく食べることができるように、食育の計画を作成していますか	40%	50%	10%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				

項目		評価(割合)				意見・改善点
第6章 保護者に対する支援		評価(割合)				評価について、全体を通して高いと言える。
	1. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援（全7項目中5項目を掲載）	1	2	3	4	1については、5歳児は年1回、0～4歳児は希望者を対象に年1回行っている。
1	一人ひとりの保護者と、必要に応じて個別に面談を行っていますか	50%	50%	0%	0%	2については、送迎の際に担任に会えるよう保育室前まで保護者に入っていたいっている。保護者と共に子育てをする姿勢を持ち、話を傾聴するよう努めている。
2	あなたは、保護者の子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけていますか	44%	48%	7%	0%	
3	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか	59%	41%	0%	0%	
4	子育てについて、保護者と共通理解を得るために、懇談会などの機会を設けていますか	53%	47%	0%	0%	
5	自分の保育実践の内容や意図を、分かりやすく保護者に説明することができますか	20%	70%	10%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				4については、0、1、3、4歳児は年1回、2、5歳児は年2回実施した。そのほかに個別面談も実施している。
	2. 地域における子育て支援（全2項目）	1	2	3	4	評価は全体を通して高いと言える。
1	虐待を疑われる子どもの情報を得た時、要保護児童対策地域協議会や児童相談所などの機関に照会、通告を行う園の体制を理解していますか	43%	57%	0%	0%	1については、町作成の「子ども虐待対応マニュアル」で共有を行ったり、研修受講時に確認を行っている。
2	一時保育のときにも、子どもの発熱や怪我の際に、保護者に連絡を取る方法を知っていますか	54%	38%	8%	0%	2については、病氣やけがの際は事前に確認した連絡方法にて行っている。
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	3. 地域や関係機関と連携（全4項目）	1	2	3	4	評価は全体を通して高いと言える。
1	子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っていますか	39%	54%	7%	0%	1については医療機関（嘱託医）や西彼保健所、役場保健師などに連絡・相談を行っているところである。
2	園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常の挨拶などを心がけていますか	55%	45%	0%	0%	4について実習生受け入れの際は、事前に面談を行い、実習生の学年、経験、知識、実習の目的やねらいの共有を行い、計画を立てて指導を行っている。将来保育士になる学生が夢と希望を持てるよう保育士自身の保育の在り方を振り返る機会にしている。
3	中高生や大学生などの保育体験を受け入れるときには、その目的や意義を理解・確認していますか	50%	46%	4%	0%	
4	実習生を受け入れる時には、意義や方針を理解し、あなたが指導的立場にあることを意識していますか	36%	60%	4%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
第7章 保育を支える組織的基盤（全6項目中5項目を掲載）		1	2	3	4	保育士以外の職種の職員は研修の機会が少ない傾向にある。また、職種に関する研修が主で保育に関する研修が少ない。よって、全体として「おおむね実施」の評価になったと考えられる。
1	会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか	36%	52%	12%	0%	今年度は園内研修として、長崎県幼児教育アドバイザーを招いて「主体的な保育とは」というテーマで保育観察を行った。保育環境や保育士の声掛けなどに対しよい評価をいただいた。そのほかに、わらべうた勉強会、自然活動研修、性教育、職員同士での保育観察などを実施した。また、外部研修としては、保育協会などの研修に参加し研鑽を積んだ。
2	同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たすべき役割とを理解していますか	40%	60%	0%	0%	
3	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めていますか	23%	60%	17%	0%	
4	国や自治体の公刊物、インターネットなどで、保育関係の情報を日頃から収集するように心がけていますか	27%	67%	7%	0%	
5	子どもの発達保障や子どもの最善の利益を考慮した保育をすすめるために園内外の研修に参加していますか	24%	52%	17%	7%	
保育所としての自己評価		2 おおむね実施				